



## 東洋水産株式会社 関東工場



### 緑化概要

敷地内にピオトープを整備しており、ピオトープ内が地元館林の自然に近い環境が保たれていることから、絶滅危惧種の「フジバカマ」と「チョウジソウ」の苗を預かり、専門家の指導の下で大切に育て、同じく絶滅危惧種の「ナンバンギセル」は自生にて保護している。夏休み親子見学会等も実施している。

(写真：敷地内ピオトープ全景)

工場所在地	〒374-0014 群馬県館林市赤生田本町3831-1					
工場代表者	執行役員工場長 安田 俊隆					
担当窓口	総務経理課					
工場の操業開始年月	2010年1月	主たる業種名 (主要製品名)		食料品製造業 (即席麺)		
工場の敷地面積	127,426 m <sup>2</sup>	建築面積		34,122 m <sup>2</sup>		
周囲の状況	用途地域：市街化調整区域 周辺土地利用：商・住・工・農の混在地区					
敷地面積に対する緑地等の割合	緑地	33%	緑地以外の環境施設	5%	合計	38%
緑地等の種別面積割合	自然型樹群・樹林	4%	整形型樹群・樹林	1%未満	単木・列状植栽地	
	地被植物	84%	花壇		その他	1%未満
	緑地合計	88%	緑地以外の環境施設	12%	緑地等の総面積	48,411 m <sup>2</sup>
緑地等の所在地別割合	敷地境界沿い	1%	作業棟周辺	1%未満	その他	37%



# KOA株式会社 パインパーク



### 緑化概要

KOAパインパーク周辺には昔から多くのアカマツ林がある。この景観を維持するための整備を行うとともに、生物多様性を意識した広葉樹の植林等もを行っている。広大な林の中には社員が心身ともにリフレッシュできるような遊歩道を設けている。秋には、この林の中で感謝祭を開催し、地域住民をはじめ、来訪される方々との交流にも取り組んでいる。（写真：パインパークを上空から撮影した様子）

工場所在地	〒399-4697 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016					
工場代表者	代表取締役社長 花形 忠男					
担当窓口	総務センター					
工場の操業開始年月	1947年5月	主たる業種名（主要製品名）		電子部品製造業（抵抗器）		
工場の敷地面積	108,324 m <sup>2</sup>	建築面積		15,081 m <sup>2</sup>		
周囲の状況	用途地域：その他（無指定地域）			周辺土地利用：農地		
敷地面積に対する緑地等の割合	緑地	37%	緑地以外の環境施設	1%	合計	39%
緑地等の種別面積割合	自然型樹群・樹林	90%	整形型樹群・樹林	1%	単木・列状植栽地	1%
	地被植物	4%	花壇	1%未満	その他	
	緑地合計	97%	緑地以外の環境施設	3%	緑地等の総面積	41,654 m <sup>2</sup>
緑地等の所在地別割合	敷地境界沿い	25%	作業棟周辺	14%	その他	



## ベックマン・コールター株式会社 三島事業場



### 緑化概要

富士山を眺望できる緑に囲まれた立地のため、緑地の多くを敷地境界沿いに配置し、四季を感じることができるよう、サクラ、ツツジ、サルスベリ、ハナミズキ、ツバキ等を沿道からも楽しめるようにしている。太陽光パネルや縦型蓄熱槽など多くのエコ整備を導入、また、地元主催の花火大会やお祭り、ボランティア等にも積極的に参加して地域活性化に貢献している。(写真：建物全景より)

工場所在地	〒411-0931 静岡県長泉町東野454-32					
工場代表者	取締役工場長 太田 宏					
担当窓口	三島人事総務課					
工場の操業開始年月	2007年4月	主たる業種名 (主要製品名)		業務用機械器具製造業 (血液自動分析装置)		
工場の敷地面積	20,663 m <sup>2</sup>	建築面積		4,582 m <sup>2</sup>		
周囲の状況	用途地域：市街化調整区域		周辺土地利用：農地			
敷地面積に対する緑地等の割合	緑地	35%	緑地以外の環境施設		合計	35%
緑地等の種別面積割合	自然型樹群・樹林		整形型樹群・樹林	69%	単木・列状植栽地	1%未満
	地被植物	23%	花壇	7%	その他	
	緑地合計	100%	緑地以外の環境施設		緑地等の総面積	7,268 m <sup>2</sup>
緑地等の所在地別割合	敷地境界沿い	30%	作業棟周辺	5%	その他	



## 共和レザー株式会社 浅羽工場



### 緑化概要

森の中に建てられた工場というコンセプトのもと、平成元年の操業時から緑地等面積率が6割以上という高い水準を維持し、緑地の約7割は樹高8m以上の高木で形成している。調整池には常に水を張り、ビオトープを形成することで鳥類等の生息環境が向上している。また、地域主催の環境美化活動への参加や、納涼祭を開催するなど、地域と積極的に交流を図っている。(写真：緑に囲まれた工場)

工場所在地	〒437-1102 静岡県袋井市浅名2134-70					
工場代表者	工場長 小久保 慎一					
担当窓口	管理室					
工場の操業開始年月	1989年6月	主たる業種名 (主要製品名)		プラスチック製品製造業 (各種合成表皮材)		
工場の敷地面積	99,351 m <sup>2</sup>	建築面積		9,932 m <sup>2</sup>		
周囲の状況	用途地域：都市計画区域外		周辺土地利用：その他 (工・農・森の混在地区)			
敷地面積に対する緑地等の割合	緑地	55%	緑地以外の 環境施設	9%	合計	64%
緑地等の種別面積割合	自然型 樹群・樹林	62%	整形型 樹群・樹林	17%	単木・列状 植栽地	6%
	地被植物	1%	花壇		その他	
	緑地合計	86%	緑地以外の 環境施設	14%	緑地等の 総面積	63,635 m <sup>2</sup>
緑地等の所在地別割合	敷地境界 沿い	61%	作業棟周辺	1%未満	その他	3%



# オムロンヘルスケア株式会社 松阪事業所



## 緑化概要

松阪事業所の緑化は、地域の生活環境と調和しながら、地域に喜んでもらえること、従業員の心身の健康向上に寄与することを目的としている。2020年3月竣工に合わせて緑地面積を大幅に増加させたレイアウトには、敷地境界に桜並木を植え、ウォーキングロードを設置し、久保町の名所、地域とのコミュニケーションの場となることを願った設計となっている。（写真：さくら匂う敷島の小径）

工場所在地	〒515-8503 三重県松阪市久保町1855-370					
工場代表者	松阪事業所所長 北口 勝也					
担当窓口	総務企画部					
工場の操業開始年月	1973年12月	主たる業種名（主要製品名）		電気機械器具製造業 （血圧計、体温計）		
工場の敷地面積	24,048 m <sup>2</sup>	建築面積		9,377 m <sup>2</sup>		
周囲の状況	用途地域：準工業地域		周辺土地利用：住宅地区			
敷地面積に対する緑地等の割合	緑地	21%	緑地以外の環境施設	5%	合計	26%
緑地等の種別面積割合	自然型樹群・樹林		整形型樹群・樹林	13%	単木・列状植栽地	2%
	地被植物	48%	花壇		その他	18%
	緑地合計	81%	緑地以外の環境施設	19%	緑地等の総面積	6,152 m <sup>2</sup>
緑地等の所在地別割合	敷地境界沿い	18%	作業棟周辺	8%	その他	



# 京セラ株式会社 京都綾部工場



## 緑化概要

工場敷地内の緑化整備を定期的に行っている。また、来客者や地域の方々にも四季を楽しんでいただけるよう工場正門前の景観も重視しており、シンボル松や桜並木等を配置している。更に森づくり活動の展開により、地域との連携強化や、気軽にウォーキングできる遊歩道を整備することにより、社員の健康増進へも繋げるフィールドとして活用する計画。（写真：緑豊かな京都綾部工場）

工場所在地	〒623-8588 京都府綾部市味方町1					
工場代表者	工場長 谷津 由尚					
担当窓口	環境安全部					
工場の操業開始年月	2005年9月	主たる業種名（主要製品名）		電子部品 デバイス 電子回路製造業 (有機パッケージ プリント配線板)		
工場の敷地面積	151,608 m <sup>2</sup>	建築面積		35,240 m <sup>2</sup>		
周囲の状況	用途地域：工業地域 周辺土地利用：工場地区、住宅地区、農地					
敷地面積に対する緑地等の割合	緑地	31%	緑地以外の環境施設	15%	合計	46%
緑地等の種別面積割合	自然型樹群・樹林	35%	整形型樹群・樹林		単木・列状植栽地	
	地被植物	33%	花壇		その他	
	緑地合計	67%	緑地以外の環境施設	33%	緑地等の総面積	69,892 m <sup>2</sup>
緑地等の所在地別割合	敷地境界沿い	31%	作業棟周辺	15%	その他	



# ローム株式会社



## 緑化概要

緑の少ない京都市街地において、「森の中の工場」をコンセプトとして緑化整備に積極的に取り組んでいる。本社内の広大な緑地エリアでは多様な環境が創出され生き物たちの住処となっており、敷地境界沿いには歩道を私設してツツジを植えたり、京都の市街地では珍しいメタセコイア並木をつくったりするなど、地域住民に美しい緑を楽しんでもらえるようにしている。（写真：森の中の工場）

工場所在地	〒615-0046 京都府京都市右京区西院溝崎町21					
工場代表者	代表取締役社長 松本 功					
担当窓口	総務部					
工場の操業開始年月	1958年9月	主たる業種名（主要製品名）		電子部品製造業 (LSI、半導体素子ほか)		
工場の敷地面積	46,579 m <sup>2</sup>	建築面積		21,755 m <sup>2</sup>		
周囲の状況	用途地域：工業地域、準工業地域 周辺土地利用：商・住・工混在地区					
敷地面積に対する緑地等の割合	緑地	17%	緑地以外の 環境施設	3%	合計	20%
緑地等の種別面積割合	自然型 樹群・樹林		整形型 樹群・樹林	57%	単木・列状 植栽地	
	地被植物	8%	花壇	21%	その他	
	緑地合計	86%	緑地以外の 環境施設	14%	緑地等の 総面積	9,499 m <sup>2</sup>
緑地等の所在地別割合	敷地境界 沿い	16%	作業棟周辺	4%	その他	



# エスペック株式会社 神戸R&Dセンター



### 緑化概要

敷地を囲む「エスペックの森」は地域本来の植生を考慮し、約3万本（約65種）を社員が植樹して創成した。敷地内には、ビオトープや地域性在来種100%で作った屋上草地を設置しており森・水辺・草地が一体となって周辺地域の生態系ネットワークを形成している。社員で組織された「ビオトープ委員会」によって外来種の除去、追加植栽など維持・管理を行っている。

（写真：地上と屋上草地が一つにつながるよう設計された「エスペックバンビの里」（全景））

工場所在地	〒651-1514 兵庫県神戸市北区鹿の子台南町5-2-5					
工場代表者	事業所長 執行役員 梅原 武彦					
担当窓口	サステナビリティ推進室 環境管理部					
工場の操業開始年月	2001年3月	主たる業種名（主要製品名）		環境試験器製造（恒温恒湿器プラチナスシリーズ）		
工場の敷地面積	31,911 m <sup>2</sup>	建築面積		7,528 m <sup>2</sup>		
周囲の状況	用途地域：準工業地域		周辺土地利用：商・住・工混在地区			
敷地面積に対する緑地等の割合	緑地	48%	緑地以外の環境施設	2%	合計	49%
緑地等の種別面積割合	自然型樹群・樹林	66%	整形型樹群・樹林	1%	単木・列状植栽地	
	地被植物	29%	花壇		その他	
	緑地合計	97%	緑地以外の環境施設	3%	緑地等の総面積	15,699 m <sup>2</sup>
緑地等の所在地別割合	敷地境界沿い	42%	作業棟周辺	7%	その他	





# キヤノンプレジジョン株式会社 北和徳第二事業所



### 緑化概要

工場及び周辺環境に配慮し、主要道路沿いには桜を植樹して工業団地の景観を向上させるなど、総合的な緑化計画に基づいた工場緑化を推進している。植物にとって冬期の降雪、積雪は厳しい制約環境であるが、毎年、芝生等緑地をこまめに手入れするなど、工夫・努力によりそれを克服している。また、環境意識の醸成のため、小学生を対象に環境授業を実施している。（写真：事業所と満開の桜）

工場所在地	〒036-8073 青森県弘前市岩賀1-7-1					
工場代表者	代表取締役社長 藪 猛二					
担当窓口	人事施設部 施設環境課					
工場の操業開始年月	2005年8月	主たる業種名（主要製品名）		製造業（トナーカートリッジ）		
工場の敷地面積	55,749 m <sup>2</sup>	建築面積		28,082 m <sup>2</sup>		
周囲の状況	用途地域：工業専用地域		周辺土地利用：工業団地			
敷地面積に対する緑地等の割合	緑地	20%	緑地以外の環境施設		合計	20%
緑地等の種別面積割合	自然型樹群・樹林		整形型樹群・樹林		単木・列状植栽地	5%
	地被植物	95%	花壇		その他	
	緑地合計	100%	緑地以外の環境施設		緑地等の総面積	10,985 m <sup>2</sup>
緑地等の所在地別割合	敷地境界沿い	17%	作業棟周辺	3%	その他	



# JSR株式会社 四日市工場



### 緑化概要

当初は単に住宅地との緩衝緑地として造られていた工場緑地を、生物多様性に配慮し、在来種を多く植栽した緑地として整備した。四日市工場では「蝶が飛び交う里山」を目指した整備を行い、鬱蒼としていた森に光と風を取り入れ、草地を残してバッタや蝶類等の昆虫が生息しやすい里山環境を再現した。その結果、現在までに10種類以上の蝶を確認することができた。(写真：地域植物を多く植樹した正門緑地)

工場所在地	〒510-8552 三重県四日市市川尻町100					
工場代表者	上席執行役員 四日市工場長 佐伯 光一					
担当窓口	事務部 総務チーム					
工場の操業開始年月	1960年4月	主たる業種名 (主要製品名)		製造業 (エラストマー製品、半導体材料製品)		
工場の敷地面積	629,233 m <sup>2</sup>	建築面積		101,464 m <sup>2</sup>		
周囲の状況	用途地域：工業専用地域		周辺土地利用：商・住・工・農の混在地区			
敷地面積に対する緑地等の割合	緑地	8%	緑地以外の環境施設	2%	合計	10%
緑地等の種別面積割合	自然型樹群・樹林	5%	整形型樹群・樹林	23%	単木・列状植栽地	18%
	地被植物	35%	花壇		その他	
	緑地合計	81%	緑地以外の環境施設	19%	緑地等の総面積	64,044 m <sup>2</sup>
緑地等の所在地別割合	敷地境界沿い	10%	作業棟周辺	1%未満	その他	